

# 平成22年度世田谷区立高齢者センター新樹苑 事業報告

指定管理者 社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団

## 1 指定管理業務を行う施設の概要

### (1) 対象施設

世田谷区立高齢者センター新樹苑

所在地 世田谷区八幡山3-18-27

### (2) 対象者 老人福祉センター 高齢者及び地域住民

居住棟

自立生活を送ることができる単身高齢者

## 2 指定管理業務の実施状況に関する事項

### (1) 老人福祉センター

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるための各種サービスを提供する。

- ① 高齢者への健康相談、健康づくり教室、陶芸教室等の実施
- ② 高齢者団体活動への会議室の貸し出し
- ③ 高齢者向けの食事及び地域住民にレストラン事業
- ④ 地域交流事業
- ⑤ 高齢者への情報提供等

### (2) 居住棟単身高齢者の生活相談や支援

居住者が、住み慣れた場所で少しでも永く暮らせるよう生活支援を行う。

## 3 利用状況に関する事項

### (1) 健康相談

相談開設日数 年間70回	利用人数 年間229人
--------------	-------------

### (2) 健康づくり事業

講座内容	実施回数	参加者数	講師
転倒予防教室	20回	473人	新樹苑職員
足指力向上講座	4回	153人	東京医療保健大学准教授
合同公開講座	1回	80人	東京医療保健大学教授
いきいき体操教室	3回	101人	日産玉川病院 理学療法士
機能訓練 健康体操等	43回	延547名	理学療法士・作業療法士

### (3) 福祉用具展示相談会

実施回数 8回	延べ参加者数 302人
---------	-------------

### (4) 各種講座の開催と利用状況

陶芸教室 年間71回	延べ参加人数 396人
和もの教室 年間27回	延べ参加人数 494人

(5) 会議室等の利用状況

施設名	件数	延べ利用者数
ホール	280件	3,766人
会議室	295件	2,557人
集会室	326件	2,963人
和室	455件	3,190人

(6) レストラン利用状況

営業時間	午前11時30分～午後3時30分
営業日	年末年始(12/29～1/3)を除き無休
延べ食数	48,857食(昼)
一日平均利用数	136.1食/日
居住棟高齢者への食事提供(朝夕)	6,367食

(7) 地域交流事業

事業内容	実施日	参加者
新樹苑・町会合同消防避難訓練	22年 6月 6日	198人
盆踊り大会	22年 7月 24日	約2,000人
敬老お茶会	22年 9月 19日	106人
ふれあい音楽会	22年12月18日	173人
初釜	23年 1月 15日	158人
森繁久彌の映画を見よう会	23年 1月 25日	69人
つるし飾り陶芸うさぎ展	23年2月26・27日	430人
森繁久彌の映画を見よう会	23年 3月 8日	64人

(8) 居住棟居住高齢者の生活相談事業

居住者数 14人(平成23年3月現在)

提供サービス：食事提供、浴場提供、安否確認、健康状態確認、生活相談  
服薬支援、通院介助(必要者のみ)

4 事業計画書で提案した事業等の実施状況

(1) 老人福祉センター事業

① 野菜づくりと収穫祭の開催により地域交流を図る。

居住棟前にある畑で、イチゴその他の果実や、野菜を居住者も参加して栽培した。居住者向けフルーツパーティー、地域住民向け収穫祭を開催した。

② 中庭でオープンカフェを開催

10月の「収穫祭」及び2月の「つるし飾り・陶芸うさぎ展」行事にあわせ、中庭でオープンカフェを、居住棟や地域の方を対象に開催した。

③ ご利用者アンケート等の実施

食堂や会議室等の新樹苑利用者を対象にニーズ調査を実施しその結果をもとに「食堂のメニューの改善」や「会議室での飲食をできるようにする」などの改善を図った。

④ 囲碁将棋個人利用者への会場貸出

平成20年度より和室を週3日、囲碁将棋の個人利用に提供している。

⑤ 食堂の夜間営業

隣接する高齢者住宅「慶明館」の居住者を対象として、希望者に夕食の提供を行っている。利用者は約10名。

⑥ あんしんすこやかセンターとの連携した相談会の実施

あんしんすこやかセンターの「いきいき講座」と高齢者センターの「福祉用具展示会」を同時に開催した。また「森繁久彌の映画を見よう会」でも、同日に、あんしんすこやかセンターの相談会を開催するなどの連携が得られている。

5 事業実績の評価と改善の取組み

(1) 地域交流

新樹苑は地元町会を始めとする地域団体や地元学生等の協力のもと八幡山町会合同消防避難訓練・盆踊り大会・もちつき大会など様々な地域交流事業を行い、地域福祉の拠点として多くの区民に親しまれている。

陶芸と吊るし雛の作品展「つるし飾り・陶芸うさぎ展」を開催し、あわせて中庭では、オープンカフェを設け見学者や利用者に対して甘酒・みそ田楽等を振る舞った。また、1月と3月には「森繁久彌の映画を見よう会」の協力で映画会を開催し、参加された地域の高齢者に好評であった。

(2) 高齢者に対する各種事業について

① 平成22年度からの新しい教室として、懐かしく身近な日本の伝統・和 문화の教室として1年コースの「和もの教室」を開催し吊るし雛を作成した。

② 合同公開講座では、「人生を楽しみましょう“生き方、食べ方、笑い方、そして死に方”」は、地域の高齢者の方が多数参加し、人生の楽しみ方を楽しく学ぶことができた。笑い塾を広めている高柳和江先生の実践的な笑い方の講座で会場が笑いの渦でいっぱいで大変好評だった。

③ 地域高齢者への健康づくりの健康増進事業として以下の4種類の講座を実施し、参加者が増えた。

ア. 寝たきりに繋がり易い転倒事故を予防するため、下肢の体操を主とした「転倒予防教室」は好評で大きく参加者が増えた。

イ. 足指力向上講座は大学と連携し継続的に体力を測定することで、数値が上がることを励みとし、リピーターにつながるなど参加者も増えた。

ウ. 健康づくり教室では、理学療法士や作業療法士を講師に招いて、身体と頭の老化予防クラス」と「機能訓練・健康体操クラス」をそれぞれに半年コースで合計年43回実施し修了者に好評だった。

エ. 「いきいき体操教室」では老化により機能低下しやすい部位の機能維持向上及び予防を目的とした「呼吸リハビリ教室」「腰痛予防教室」「ひ

ぞ痛予防教室」を開催し定員を超える盛況だった。

- ④ 指先を使うことにより脳の活性化を図ることを目的に実施している陶芸教室では修了者が、デイの陶芸ボランティアとなり継続的な協力がある。
- ⑤ 健康相談では、22年度より相談曜日を固定しPRをしたが、利用者増にはつながらず、平均利用人数は前年度と変わらなかった。

(3) 高齢者や高齢者団体への活動支援について

- ① 会議室の利用については、高齢者では囲碁将棋、コーラス、民謡、踊り、手芸、書道、カラオケ、その他の団体に利用されている。
- ② 高齢者団体の交流のため「交流広場」掲示板を設置し、各団体が活動のPRできる場を提供し活用されている。
- ③ また、絵画等の展示スペースとして、ロビー壁面とレストラン壁面にギャラリーを設置した。1か月毎に写真・絵画など様々な展示ができています。

(4) 居住棟高齢者への支援について

居住者は平均年齢87歳でありADL（日常生活動作）の低下等により、自立した生活を送ることが困難と思える居住者も増えている。22年度中には、特養ホームと有料ホームに各1名ずつ転居された。23年3月末現在の居住者は、要介護1～3が5名、要支援が6名、非該当が3名の計14名となっている。住みなれた場所で少しでも永く暮らせるよう、主治医やあんしんすこやかセンター、ケアマネジャー、ご家族や成年後見人等と連携し、日々の生活支援をおこなった。

6 指定管理に関する業務の収支

(単位＝円)

項目	金額	備考
収入計	112,859,668	
指定管理料	93,953,000	指定管理料
その他	18,906,668	寄附金・雑収入・引当金戻入
支出計	105,812,674	
人件費	34,712,234	職員人件費
事務費・事業費	67,978,667	施設維持管理費・行事費等
その他	3,121,773	引当金等
収入－支出	7,046,994	